

第七十五回帝國議會
衆議院

昭和十二年法律第九十號中改正法律
案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第十六回

會議

昭和十五年三月十四日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理理事 坪山(德彌君)
理事 深澤 吉平君 理事 森 幸太郎君
高田 耘平君 土田 莊助君
今成留之助君 岡野 龍一君
小笠原八十美君 小串 清一君
小野 謙一君 平野 力三君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 岡田喜久治君
農林省畜產局長 岸 良一君
馬政局長官 村上富士太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
農林技師 佐々田伴久君
農林技師 佐藤繁雄君
農林事務官 三須武男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

裝蹄師法案(政府提出、貴族院送付)

家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

○坪山委員長代理 ソレデハ只今カラ會議

ヲ開キマス、發言ノ順序ハ深澤君ニナツテ居リマスガ、今見エマセスカラ次ノ方ニ御許致シマス——小笠原君

○小笠原委員 私ハ牧野法ノ目的デアル馬ノ生産育成竝ニ資質ノ向上ニ付テ、又其ノ資源確保ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、

實ハ農林、陸軍、大藏ノ三大臣ノ御答辯ヲ得テ、今日全國ノ馬産界ノ不安デアル所ヲ一掃シタイト云フノガ目的デアツタノデアリマスガ、大臣方ガオ見エニナリマセスカラ、其ノ他ノ次官竝ニ長官ノ方々竝ニ陸軍ノ方々、ソレハ御傳ヘテ願ツテ、更ニ後ノ大臣ノ御出席ヲ願ツテ要點ヲ伺フコトニ致シタイ、ソレデ私ハ今回ノ急激ナ生産地ノ不安ニ對シマシテ、實際ノ有體ノコトヲ申上ゲテ御尋シタイノデアリマス、隨テ其ノ申上ゲルコトガ多少細カイ點ニ入ルコトト思ヒマスガ、ドウゾ此ノ問題ハ極メテ急迫シテ居ル場合デモアリ、且又軍ノ作戰上ノ極メテ重要ナ活兵器ノ生産デアリマスカラ、御許シテ願ヒタイノデアリマス

先ヅ牧野ノ開放モ馬産家ノ多年要望シタル點デアリマシテ、今日此ノ改正ニ依ツテ更ニ國民ノ希望ヲ滿タサントシテ居ルコトニ對シマシテハ、感謝ニ堪ヘナイ者デアリマス、併シナガラ牧野ノ改正ノ點ニ於キマシテモ、相當ナ疑問ヲ有シテ居ルノデアリ

マスガ、此ノ牧野法ノ改正ニ付テ思フ致シマス、同時ニ昨今ノ物價騰貴ノ情勢カラ、馬資源ニ如何ナル影響ガアルカト云フコトノ調査ガ、先ヅ必要デアルト思フノデアリマス、今日ノヤウナ情勢デハ資源確保ハ到底出來ナイノデアリマシテ、馬ノ生産ニ從事シテ居ル者ハ經濟ヲ度外視シテ、愛馬ノ傳統的精神ト趣味ヲ持チマシテ、愛著心カラ是マデドウニカヤツテ來タノデアリマスガ、數年前ヨリ諸物價ノ暴騰ニ依リ、一面出征兵竝ニ徵發馬等ニ依ツテ、農家經濟ハ困窮窮迫ヲ告ゲテ來タノデアリマス、併シナガラ此ノ時局ニ鑑ミマシテ、軍ノ活兵器ヲ生産スル農民ハ、一切ノ收穫ヲ擧ゲテ、馬生産ノ損失ヲ負擔致シマシテモ、現ニ資源確保ニ努メテ居ルモノデアリマス、軍馬ニ對シマシテ一例ヲ申上ゲルナラバ、馬ノ糶市場ニ於キマシテモ、市場價格ハ牛馬商ニ購買サレル方ガ五圓、十圓高クアツテモ、安イ方ノ軍馬購買ヲ希望シテ、軍馬御用ノ聲ヲ聞クト同時ニ、恰モ出征兵ヲ送ルガ如キ觀ヲ呈シテ、拍手ヲ以テ之ヲ送ツテ居ルノデアリマス、又畜産組合ニ於テハ何時デモ申上ゲル通り、軍馬ヲ多數生産シテ部落ニハ國防優勝旗ヲ授與シ、又個人ニ對シマシテモ木杯等ヲ授與シテ、獎勵シ來ツタノデアリマス、斯ノ如キ狀況ハ今回ノ事變ニ

對スル軍需資材供給ノ何レカラ見マシテモ、農村ノ個有ノ美德ノ現レデアリマス、然ルニ昨年ヨリ本年ニ掛ケテノ諸物價ノ急激ナル暴騰ハ、物ニ依ツテハ倍カラ三倍、五倍ト云フ狀況デアリマシテ、農村ノ美德モ、馬資源モ破壊シツツアルト云フ點ハ、政府デハ今見逃シテハナラナイ狀況デアリマス、昨年日支事變ノ實績ニ鑑ミマシテ、種馬統制法竝ニ軍馬資源保護法ノ二法案ヲ制定シテ、馬ノ方針ニ大改革ヲ來シタノデアリマスガ、此ノ改革ノ要點ハ、軍ノ要求スル所ハ低身廣軀、四肢強健ニシテ、負擔力、輓曳力ニ富ム馬ヲ要求シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ條件ノ馬ヲ生産スルニハ、ヤハリ生産ノ技術ニ一定ノ條件ガアリマス、ソレデ先ヅ最初カラ斯ウ云フ馬ヲ生産スベク配合ニ注意シナケレバナラスノデ、假ニ申上ゲテ見レバ、體高ノ高過ギル馬ニ對シテハ低イ馬ノ配合、低イ馬ニハ體高ノ高イ馬、或ハ又蹄ノ惡イ馬ニハ良蹄ノ馬ヲ、又乘馬生産ニ對シテハ歩樣ニ注意シテ配合トカ云フコトデ、中々配合カラシテ相當ノ注意ヲ拂ハナケレバナラスノデアリマシテ、隨テ種牡馬ノ選擇ト其ノ配給ニ重點ヲ置カケレバ、今度ノ要求スル馬ト、此ノ法ノ目的ニ達スルコトハ出來ヌノデアリマス、又次ニ我國ノヤウニ牧野ガマダ不完全ナ所デハ、軍ノ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
裝蹄師法案(政府提出、貴族院送付)(第六〇號)
家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八五號)
牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八七號)
獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第九三號)

要求スル馬ヲ生産スルニハ、是ハ馬モ人モ同ジコトデアリマシテ、幼駒ノ場合ニ當歲カラ三歲時期ノヤウニ最モ發育ノ旺盛ノ時ニ、發育ニ要スル所ノ最高ノ榮養ト運動トヲ伴フト云フコトハ、最モ重大要件デアリマス、次ニハ牧野ノ整備擴張、採草地ノ選定ヲ誤ラナイヤウニシナケレバナラス、斯ウ云フコトハ此ノ馬ノ生産ニ對シテ最モ注意ヲシナケレバナラス點デアリマスガ、吾々ノ東北地方デハ放牧期間ハ僅カ五箇月間シカナイノデアリマシテ、アトハ積雪ノ爲ニ七箇月間ト云フモノハ、舍飼ヲ餘儀ナクサレルノデアリマス、併シナガラ舍飼ニ於テモ放牧ニ於テモ、一定ノ濃厚飼料ハドウシテモ與ヘナケレバナラスコトハ勿論デアリマス、中ニモ冬期間ノ運動ヲ怠ラズ、同時ニ飼料ヲ十分ニ供給スルト云フコトハ、是亦絕對條件ナノデアリマス、隨テ馬ノ生産竝ニ幼駒ノ育成ハ、中々サウ簡單ニ行カヌノデアリマシテ、殊ニ今回ノ二法案ノ制定ニ依ツテ、軍ノ要求馬竝ニ此ノ要求馬ヲ生産スル所ノ種牝馬デアリマスガ、是ノ育成ニハ特別ナ技能ヲ要スルノデアリマシテ、此ノ馬ノ生産ニ當リ、或ハ幼駒ノ育成ニ當ル牧夫ハ一ツノ技術ヲ要スルノデアリマシテ、軍馬ヲ兵器トスルナラバ、ソレヲ生産スル所ノ者ハ、恰モ鐵砲大砲ヲ製作スル職工ト同様ニ、今日ノ場合相當ニ重要ナ技術者デアアルノデアリマス、此ノ人等ノ給料ハ是マデ食ヲ與ヘテ年ニ二百圓内外デアツタノデアリマスガ、現在デハ食ヲ與ヘテ四百圓デモ人ヲ求ムルコトハ出來ナイト云フノデ、非常ニ困惑ヲシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、何故サウ云フコトニナルカト云ヘバ、今日人ニ限リガアルモノデスカラ、假ニ青森縣

ニ例ヲ引クナラバ、東北振興電力ト云フモノガ今盛ニ大工事ヲヤツテ居ル、又一方ニハ軍需工業、軍事ノ飛行場其ノ他ノ事業ヲ方々デヤツテ居ル、ソレカラ「アルミ」工業等モ馬産地ニ方々ニ出來テ居ルノデアリマス、是ガドウシテモ人ガ要ルモノダカラ、如何ナル人ヲ雇入レルニモ金ヲ以テ爭ツテヤツテ、小學校卒業生デ一日ニ一圓五十錢、二圓、相當ナ若イ者デアルト一日二圓五十錢ト云フヤウナコトデ雇ハレルノデアリマスカラ、迎モ馬産家ノ方デハ是ト競争シテ雇入レルコトガ出來ナイト云フヤウナ狀態デアリマス、故ニ馬ノ生産ハ今日ノ情勢カラシテ採算ナドト云フコトデナク、モウ他ノ收穫ヲ以テ補フコトガ餘リニ犠牲ガ大キイノデアリマシテ、非常ニ窮迫ヲシテ、今日容易ナラザル狀態ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ中デモ最モ馬政局ノ方デ注意ヲシテ戴カナケレバナラスコトハ、地方ノ優秀ナ馬ヲ生産スル人、即チ種牝馬、候補馬ト云フヤウナモノヤ、或ハ軍馬ノ中ノ優秀馬ト云フモノヲ生産スル人ハ、多クハ各部落ニ於テノ有力者デアリマス、一體馬ニ對シテハ複雑ナ法律トカ命令トカ云フモノガ三百五六十モアルノデアリマスガ、之ヲ馬生産ニ當ル農家ハ何ニモ分ラナイデ、此ノ中堅ノ有力ナ優秀馬ヲ生産スル連中ガ指導シテ、今マデ馬ノ生産ヲヤツテ來タノデアリマス、所ガ近頃ニナリマシテカラ、此ノ指導者ノ連中ハ一番經濟的ニ打撃ヲ受ケ、且又算盤ノ方ハ農村ニ於テモ達者ナ連中デアリマスカラ——餘リニ犠牲ガ多イノト、年政府ノ方ニ馬ノ經濟ノコトニ付テ陳情致シマシテモ、殆ド其ノ要望スル所ハ容レラレナイノデ、モウ今日ノ狀態ヲ悲觀シテ、

ソロ／＼馬ノ方カラ逃度ヲ始メタト云フ現狀デアアルノデアリマス、此ノ優秀ナ馬ヲ生産スル農村ノ有力者ハ、是マデハ經濟ト云フコトヲ度外視シテ頑張ツタノデアリマシテ、ソレモ御承知ノ通り先祖傳來ノ愛馬心ト、時局ノ重大性ニ鑑ミタコトデアリマシテ、此ノ愛馬心ニ依ツテ馬ト同居シテ今日マデ來タノデアリマスガ、現在デハモウドウニモナラナクナツテ、殆ド世間體ニハ見エナイヤウニシテ居リナガラ、三頭ノ馬ハ二頭ニ減ジ、二頭ノ馬ハ一頭ニ、一頭ノ中デモ良馬ハ飼料ガ餘リニ多ク掛ルノデアリマシテ、飼料ノ要ラス駄馬ト云フヤウナモノニ換ヘ、更ニ一頭シカ所有シテ居ラヌ者ハ、牛ニ乘換ヘテ居ルト云フ現狀デアリマス、農民ハ朴訥デアリマシテ、他ノ産業ニ關係シテ居ル者ノヤウニ、廢ナル時ニモ非常ニ目立ツヤウナ方法ヲ執ラナイ、是マデ馬ニ對シテハ皆獎勵モシ、指導モシテヤツテ來テ、本人モソレデハト云フノデ乗出シテ、ヤリタイト云フヤウナ氣分ノアル所ニ、急ニ斯ウ云フ大キナ打撃ガアル場合ニ、自分カラ止メルト云フコトハ全く世間ニ申譯ナイヤウナ感ガスルノデアリマシテ、是ハコソ／＼止メナクテハナラヌト云フヤウナ狀態デアアルノデアリマス、是ガ一番今日ノ恐シイ事情デアアルノデアリマス、是ハ田舎ノ地方的ナコトヲアナタ方ニ申上ゲテモ、マサカサウデハアルマイ、地方ノ報告ハソナコトデハナイ、斯ウ仰セニナルカモ知ラヌガ、實際ノアナタ方ニ對スル證據トシテ現ハレルノハ、中央ニ於ケル乘馬團體、此ノ方々ハ大抵金ニ困ラナイ人デ、贅澤道樂デヤツテ居ルノデアリマスカラ、如何ニ飼料ガ高クテモ決シテ馬ヲ牛

ニ換ヘル筈ハナイ、所ガ中央ニ於テモ、地方ニ於テモ乘馬團體ナドヲ組織シテ居ル所ハ半減サレテ居ル、三分ノ一ニナツテ居ルト云フ狀態ヲ見マシテモ、如何ニ此ノ飼料ト云フモノガ影響シテ居ルカ、又牧夫ノ關係ガ影響シテ居ルカ、牧夫ノ關係モ飼料ニ劣ラザル所ノ大キナ影響ガアルノデアリマシテ、非常ニ生産地トシテハ大打撃ヲ受ケテ居リマシテ、ドウシテモ已ムヲ得ナケレバ馬ヲ廢サナケレバナラスト云フヤウナ現狀ニマデ立至ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ馬政局關係ノ方々能ク御承知デアラレル通り馬ノ生産擴充方面、指導方面ニモ先刻申上ゲタ通り各部落々々ノ知識階級ノ有力者ガ、犠牲的ニ生産ニ從事シテ居ツテ、ソレヲ目標トシテ多クノ農家ガ生産ニ携ツテ來タト云フコトハ、能ク分ツテ居ラレルノデアリマスガ、地方ノ有力者ガ此ノ生産カラ逃レヨウトシ、他ニ轉向シヨウト云フヤウナ考ヲ持ツテ來タ時分ニ、農家ニ對シテハオ前等ノ方ダケハヤレ／＼ト云フノデ、自分ダケガ逃レルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレガ段々大キナ影響ニナルト、急ニ大變動ガ來ルト云フコトハ、アナタ方ハ見逃シテナラヌト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ問題ニ對シマシテハ、本當ハアナタ方ハ御知リニナリマスマイガ、私ハ馬ニ携ツテ居ルカラ實際ビツクリシタコトガアルノデアリマス、之ニ對スル對策ト云フモノヲ執ツテ居ラレルカ、或ハ又今後ドウ云フ方針デ此ノ資源確保ト云フコトニ對シテ、急激ナ打撃ヲ與ヘズシテ救済スル方法ヲ執ラレルカ、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマスカラ、此ノ點デ何カ御考ニナツテ居ルコトガアルカ、又或ハ之ニ對策ヲ執ラレルコ

トガアリマシタナラバ、此ノ際伺ツテ置キ
タイノデアリマスガ、尙又無理ニ考ノナイ
對策ヲ執ツテ居ラヌト、今此ノ場逃レノヤ
ウナ御答辯ヲ得テモ、此ノ馬産地方ハ安心
スルモノデアリマセヌカラ、若シ執ラレ
ナイトシタナラバ、今後ハ調査班デモ出張
セシヌ、其ノ他ノ對策ヲ執ル爲ニハ如何ナ
ルコトヲ爲サレカト云フヤウナコトヲ言
ハレタ方ガ、却テ生産者ノ方ニ安心セシム
ルニ宜イト思フデアリマスガ、併シナガ
ラ策ガ立ツテ居ルト云フコトデアラナラバ
幸ヒデアリマスカラ、先ヅ其ノ點ヲ伺ツテ、
ソレカラ細部ニ互ツテ御尋シタイト思フ
デアリマス

○村上政府委員 只今小笠原委員ノ續々御
述ニナリマシタコトハ、私共モ非常ニ啓發
サレル所ガ多イデアリマス、從來此ノ馬
産ノ關係ハ、地方ニ於ケル所ノ有力者、其
ノ他一般其ノ方面ノ馬産農民ガ先祖傳來ノ
愛馬心ニ依ツテ、義勇奉公ノ精神カラ算盤
ト云フコトニ重キヲ置カズシテ、全ク純國
家の立場ヨリ馬産ノ振興、良馬ノ生産ニ努
メラレタト云フコトハ、是ハ私共竝ニ陸軍
ニ於テモ非常ニ感謝シテ居ル所ト考ヘテ居
リマス、而シテ只今御述ニナリマシタ最近
ノ現狀ニ於テ、有力家等ガ次第ニ馬産カラ
手ヲ引クト云フヤウナコトニ付キマシテ
ハ、只今笠原委員ノ御述ニナツタヤウニ、
サウ云フ悲觀的ナ報告ハ私共ハマダ聽イテ
居リマセヌ、併シ私共ハ中央ニ居リマシテ、
地方ノ津々浦々ニ對シマシテハ、情報網ハ
廣ク延ビテ居ル譯デハゴザイマセヌノデ、
今後ツレ等ノ點ニ付テハ十分實情ヲ調査シ
マシテ、其ノ結果、是ハ事實拾テ置キ難イ
モノト見レバ、至急對策ヲ講ジナケレバナ

ラスト思ヒマス

尙ホ牧夫ノ問題ニ付キマシテハ、此ノ度
豫算ニ於キマシテ、牧夫設置ノ助成金竝ニ
牧夫ノ養成費ヲ計上シテ置キマシテ、ソレ
ニ依ツテ優良ナル牧夫ヲ得ルコトニ努メル、
斯ウ考ヘテ居リマス

尙ホ飼料ノ問題ニ付テモ、是ハ畜産局或
ハ陸軍等トモ色々協議シ聯合シマシテ、軍
用保護馬トカ、種馬デアルトカ、ドウシテ
モ相當ノ飼料ヲ配給シナケレバナラナイモ
ノニ付テハ、滿洲國ノ大豆粕及ビ大豆ノ配
給ニ付キマシテ手配ヲシテ居ル次第デアリ
マス

○小笠原委員 只今ノ御答辯デ、能クマダ
地方ノ内容ハ御分リニナラナイト云フ御話
デアリマスガ、尤モサウデアリマセウ、併
シナガラ今申サレタ通り、實際馬ニ關係ノ
アル人デアツテモ、地方ノ種馬所或ハ牧
場ト云フヤウナ所デアツテモ、實際ノ馬ノ
移動ノアルコトヲ知ラヌデ居ルヤウナ狀況
デアリマス、尤モ今ハ種付ケノ検査時期デ
モアリ、其ノ他ノ關係デ馬ノ調査、検査ニ
廻ル時デアルカラ、同時ニ移動馬ト云フモ
ノノ實情ヲ御調査ニナツテ對策ヲナサルコ
トガ、最モ急務ダト私ハ考ヘルデアリマ
ス、大體馬ニ對シマシテハ農林省デモ――
角馬ハ特ニ農林省デモ、大藏省ハ勿論、軍
部ノ方ニ於キマシテモ、大臣アタリモ、長
官アタリモ素人デアツテ、多クハ中間屬僚
ノ意見ニ依ツテ、馬政國策ト云フモノノ方
針ハ立テラレテ居ルト思フデアリマス、
隨テ茲ニ馬ニ關係スル官吏ノ方々ハ、特ニ
官僚獨善デアツテハナラヌト私ハ考ヘテ居
ルデアリマス、私等ノ注意ヲスルコトハ

中々ドウモ通ラナイヤウナ感ガシテ洵ニ遺
憾ヲ感ズル、第一此ノ間モ馬産ノ關係ニ對
シテノ重要ナ位置ニ居ル方々ニ對シテ、私
ハ今日ノ馬ノ移動狀況ヲ報告申上ゲタ、申
上ゲテモ中々ビツクリシナイ、平然トシテ
居ツテ、ドウモ外國ニ行クノデヤナイノダ
カラ、内地ニサヘ居ルナラ馬ガ移動シテ何
處ヘ行ツテモ、生産ニ差支ナカラウト云フ
ヤウナ言ヲサヘ吐カレル方々デアアル、ドウ
モ斯ウ云フ机上ノ空論ヲ振廻スト云フヤウ
ナコトニ、官僚ノ方々ガ思フデアレバ、
馬産ト云フモノト國防ノ前途ニ、一抹ノ不
安ヲ感ゼザルヲ得ナイヤウナコトニナルノ
デアリマス、今申上ゲタ通り馬ト云フモノ
ノ生産ハ、技術ガ伴フモノデアリマシテ、
馬ダケ移動シタツテ技術ガ伴ツテ行カナイ
ト、生産率ノ減少ヲ見ルコトハ是ハ勿論デ
アリマス、況ンヤ生産地カラ育成地トカ、或
ハ使役地ニ移動シタノデハ、是ハ生産不能
ニナルコトハ勿論デアリマス、同ジ生産地
ノ移動デアリマシテモ、移動シタ其ノ年ダ
ケハ受胎率ト云フモノハ三分ノ一ニ低下ス
ル、斯ウ云フコトガ是ハ條件ノヤウニナツ
テ居ルデアリマシテ、此ノ點ハ政府ニ於
テモ各牧場トカ、其ノ他ニ於キマシテ能ク
調査ヲナサレテ、此ノ點ハ分ツテ居ラレ
ト思フデアリマス、隨テ此ノ馬ノ問題ニ
付キマシテハ、特ニ資源確保ト云フコトニ
對シテハ種牝馬ノ移動ヲ禁止スル、移動ガ
アルト云フコトガ一番恐ルベキモノダト云
フ風ニ御考ニナラレテ、此ノ點ニ重點ヲ置
イテ、色々御調査ヲナサレナケレバナラヌ
ト思フデアリマス、先ヅ此ノ移動ニ依ツ
テ生産率ハ低下スル、或ハ生産不能ニナル
ノデアルト云フコトノ御調査ガ何處マデ出

來テ居ルカ、如何ニモ移動ガアツテハナラ
ヌモノダト云フコトニ對シテ、認識シテ居
ラレルカドウカ、ソコデ私ハ非常ニ疑ヲ持
ツテ居ルコトガ一ツアル、何故ナレバ今ノ
補助ヲ出シテ居ルコトニ付キマシテモ、亦
長官ガ馬匹協會ニ於キマシテ御講演、御訓
示ヲナサレタ點ノ内容ニ付キマシテモ、生
産ニ對シテハ生産技術者ノ助成ヲシテ各地
ニ配置シテ居ル、如何ニモ其ノ通りデア
ル、又慣行ノナイ牝馬ニ對シテ獎勵ヲヤツテ、
サウシテ種付ヲ獎勵シテ居ル、ソレガ爲ニ
生産ガ非常ニ増加シタト云フヤウナコトヲ、
御講演ナサレテ居ルト記憶シテ居リマスガ、
一體馬ハ慣行ノナイ所ニ種付ヲシタノニ依
ツテ、生産成績ガ増加スルト云フコトハ、
ソレガドレ程效果ガアルカト云フコトニ私
ハ多大ノ疑ガアル、今マデ増産計畫ヲ御立
テニナルニ際シテ、種付ノ受胎能率ト云フ
モノハ、數種付ヲシタツテ能率ガ上ルモノ
デハナイト云フ風ニ私ハ感ジテ居ルデア
リマシテ、今マデノ日本全國ノ生産馬ニ配
合シタ其ノ受胎率ヲ見マスルト五〇%ニモ
行ツテ居ラス、而モ其ノ中ノ良馬ヲ選定ス
ルト云フコトニナレバ甚ダ少數ナモノデア
リマス、是ガ牧場トカ其ノ他デ非常ニ種
ヲ掛ケテ、有ユル手段ヲ盡シテ生産ニ盡
力シテ居ル所ハ、八〇%ト云フ相當ノ成績
ヲ擧ゲテ居ル、隨テ斯ウ云フノハ政府
ノ牧場アタリデ成績ヲ見テ居ルノデア
リマスカラ、如何ニスレバ増産計畫ニ效
果ガアルカ、即チ良馬ノ生産ニ宜シイカト
云フコトハハツキリ分ツテ居ル筈デアリマ
スガ、ソレダケノ豫算ヲ出シテ生産ニ指導
助成スルト云フコトハ、今日馬産政策上ノ
豫算ヲ取ルコトハ出來ナイノデ、隨テ今ア

リノ儘ノ現狀ヲ以テ、唯數ヲ殖ヤス爲ニ慣行ノナイ馬ニ種付ヲスルナラバ、數種付ヲスルカラ數生産スルダラウト云フヤウナ方針ヲ執ツタノデハナイカト云フコトニ對シテ、私ハ大キナ疑問ヲ持ツテ居ル、是ハ長官ハヤバリ馬ノ實際ノ技術者ノ方カラサウ申サレタナラバ、サウ信ジテ居ラルレノデアリマセウケレドモ、ヤハリ受胎率ト云フモノハ相當ノ榮養ヲ攝ツテ、體內ニ蛋白質ヲ十分ニ含シテ居ルト非常ニ成功スル、濃厚飼料ヲ與ナイ、蛋白質ノナイ體內ニハ受胎率ハ惡イノデアル、現在下北方面ノヤウニ飼料ヲヤラナイ所ノ馬ハ中々受胎率ガ惡イシ、生レテモ中々好イ按排ニ出來ナイ、朝鮮カラ馬ヲ持ツテ來デモ、其ノ年ダケハドンナニ配合シタツテ、中々二割モ受胎シナイ、一年間シツカリ濃厚飼料ヲヤツテ、十分ニ榮養飼料ヲ攝ラセレバ翌年ニナツテ一〇〇%デアル、斯ウ云フ狀況ヲ見マシテモ、ドウシテモ榮養ト云フモノヲシツカリヤラスト駄目ダ、ダカラ今ノ雪國地方デアリマシテモ、或ハ又其ノ他ノ農家デアリマシテモ、何レモ舍飼シテ居ル時分ニ、運動ト飼料トスツカリ調和ヲ付ケルヤウニ與ヘテ、春種付ヲスルト一番受胎率ガ多イ、ダカラ現在慣行ノアル馬ニサヘ種付ヲスレバ、或ハ軍ノ目的トスル馬ガドンノ生産出來ルコトハ、是ハモウハツキリ分ツテ居ル、其ノ方ヲヤルト相當ニ又是ハ助成スル上ニ於テモ金ガ掛ルデセウ、之ヲ取ラズシテ、今言ツタ慣行ノナイ所ニ力ヲ置イテ居ルト云フコトハ、一體政府ノ方デ研究シタ何レノ方面カラ、サウ云フ方針ヲ取ラレタカト云フコトニ私ハ疑問ヲ持ツテ來ルノデアリマスガ、今後ハ殊ニ馬ノ移動ガ激シクテ前途ノ生産

ニ心配デナラナイ場合ニハ、ヤハリ生産歩合、受胎歩合ト云フモノニ重點ヲ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレニハ今ノ蛋白質ト云フモノハ非常ニ受胎率ニ大キナ關係ノアルコトハ大分研究モ進シデ居リ、吾々組合トシテモサウ云フコトヲヤツテ見テ成功シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ重點ヲ置イテ、是カラ生産増進ト云フコトニ方針ヲ取ラレル考ガアラレルカドウカト云フコトヲ先ヅ伺ツテ置キタイ

○村上政府委員　今日馬ガ微發其ノ他ノ關係上相當減ツテ居リマスノデ、之ヲ回復スルニハ、第一ノ觀點ニ於キマシテ受胎率ノ増加ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、之ニ付キマシテハ只今モ各地ニ生産技術ノ方ノ受胎率増進ニ關スル技術員ヲ増置シテ居ル譯デアリマスガ、吾々ノ研究ニ依リマスレバ、只今ノ受胎率ハ五〇%ヲ稍、下ル位ノ所デアリマス、之ヲ全般的ニ見テ六十位ニ引上グルコトハ左程困難デナイ、成程國立種馬牧場等ニ於テハ七十五、或ハ八十ト云フヤウナ成績モ舉ツテ居ルノデアリマス、ソコマデ之ヲ持ツテ行クト云フコトハ到底不可能デアリマスガ、六十近クニ引上グルコトハ、サウ困難デハナイト云フコトヲ私共ハ技術者カラ聞イテ居リマス、其ノ受胎率ト蛋白質ノ問題、榮養ノ問題ニ付キマシテハ、私ニ代リマシテ他ノ説明員カラ答辯ヲ致サセマス

次ニ今マデ種付ノ慣行ノナイ土地ニ對シテモ、種付ヲ獎勵ヲシテ居リマス、是ハ必ズシモソレカラ出マス仔ガ非常ニ良イモノガ生レルトハ考ヘテ居リマセヌガ、斯ウ云フ際ニ於キマシテハ、馬ノ數ガ殖エルト云フコトハ、一般農耕馬等ニ對シテ供給ヲ潤

澤ニナラシムルト云フ意味ガアリマスノデ、ソコデサウ云フ方面ニ付テモ、ヤハリ此ノ實際ヲ注ガ必要ガアルト思ツテ、其ノ方ニ對シテモ種付ノ獎勵ニ付テハ、ソレノ施設ヲシテ居ル次第デゴザイマス。

○佐々田説明員 只今小笠原サンノ御質問ノ中ニ、慣行ノナイ牝馬マデ生産ヲ強ヒテ増産ヲ圖ルコトハ、效果ガ舉ルノデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、慣行ノコトニ付キマシテハ、全然慣行ノナイ地方ノ生産ヲ獎勵スルト云フ趣旨デ、多分長官ガ仰セニナツタノデハナイカ、從來慣行ノナイ牝馬ヲ慣行ノ方ニ誘導シテ、サウシテ種付數ノ増加ヲ圖ルト云フ意味ニ仰セニナツタノデハナイカト存ズルノデアリマス、現在私共此ノ方面ノ指導方針ト致シマシテハ、從來生産ノ慣行アル地方ニ於テ、而モ四歳以上ノ繁殖適齡馬ニシテ、從來生産ノ慣行ノナイ牝馬ガ相當居ル、之ヲ生産スルヤウニ誘導致シマシテ、種付數ノ絕對數ヲ増シテ増産ヲ圖ラウ、一方只今申サレマシタヤウニ、生産率ノ増進ヲ圖ル爲ニ、之ニ關スル技術員ヲ増置サレテ、生産率ノ増加ヲ圖ツテ居ラレルノデアリマスガ、尙ホ吾々ノ希望トシテハ、榮養ノ良イ——今小笠原サンノ申サレタ蛋白質ノ多イト申シマスカ、榮養ノ良イモノニ付キマシテハ、之ヲ隔年交配デナク連年種付ノ方ニモ誘導シテ、併セデ増産ヲ圖ル、各種ノ方面カラ増産ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、全然慣行ノナイ育成地域ハ飼育地ニ於ケル牝馬ニモ、種付ヲシテ増産ヲ圖ルト云フコトハ考ヘテハ居ナイノデアリマス、其ノ點誤解ノナイヤウニ一言申添ヘテ置キマス、尙ホ牝馬ノ移動デゴザイマスガ、生産地ニ於ケル繁殖慣行ノアル牝馬ガ、

生産ヲ爲サザル地方ニ移動スルト云フコトハ、是ハヤハリ國內ノ生産ヲ低減スルコトニナリマスノデ、若シ是ガ頻々トシテ行ハレルヤウナコトニナリマシテハ、折角増産計畫ヲ立テテ居ル今日、由々シキ問題デアルト存ジマスノデ、是ハ能ク調査致シマシテ、ドウ云フ地方ニサウ云フ傾向ガアルカラ調べテ見タイト存ジマス、私ノ申上ゲルコトハ是ダケデアリマス

○佐藤説明員 ソレデハ榮養ノ方ニ關シテ私カラ御答辯申上ゲマス、只今ノ受胎、又流産セズニ健全ナ子供ヲ生ム上ニ於テ、蛋白質ノ豐富ナ給與ト云フコトハ、是ハ根本的ニ必要ナコトデ、第一義デアルト云フコトハ、色々ノ調査デ小笠原サンノ仰シヤル通り分ツテ居リマス、隨ヒマシテ生産率増進施設ニ於テ、技術員等ニ於テモ其ノ點ヲ先ヅ第一ノ條件ニシテ、馬ノ生産率ノ増加ト云フコトヲ指導シテ居ル譯デアリマス、又サウ云フコトニ依ツテ、昭和十二年ノ成績ハ從來ヨリモ約一割ノ生産率ノ増加ヲ見テ居リマス、是ダケ御答シテ置キマス

○小笠原委員 只今ノ佐々田説明員ノ御答辯ニ依リマス、ヤハリ從來ノ種付シテ居ル地方ニノミ種付ヲヤツテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ガ先刻伺ツタノハ言葉ノ足りヌ點モアツタカモ知レヌガ、種付慣行ノナイ所ニ獎勵スルノガ惡イト云フ意味デハナイノデアリマス、ソレモ必要デアルケレドモ、増産計畫ヲ立テル上ニ於テ、ソレ以上必要ナコトハ、今ノ從來種付慣行ノアル生産地ニ對シテ、一段ト助成指導ノ力ヲ致スベキ所ガアルデハナイカ、ソレハ今申上ゲタ通り榮養ノ關係、蛋白質ノ關係ヲ伴ハセテ、サウシテ生産受胎ノ能率ヲ擧ゲル

ト云フコトハ、只今佐藤サンノ御話ニ依リマシテモ、政府ノ方デモ既ニサウ云フ蛋白質ト云フモノハ重要條件デアルト云フコトヲ申サレ、調査済ニナツテ居ルヤウナ關係デアリマスルガ、唯ソコニ力ヲ注グト云フコトニ對シテハ、今農林省ノ豫算ヲ以テシテハソレハ出來ヌノデ、豫算ヲ取ルト云フコトニ付デ力ヲ致サナカッタト云フコトニ缺陷ガアルノデアリマスカラ、ソレサヘ努力スレバ此ノ生産増進ト云フモノハ出來ルノデアルカラ、多少馬ノ移動ガアリマシテモ、受胎率ニハサウシタ心配ハ起キナイヤウニ出來ルト思ハレマス、又良馬生産ニモ非常ニ效果のデアツタト考ヘテ居リマス、サウ云フ點ガ政府ノ方デ分ツテ居ナガラ、何故ニ其ノ點ニ力ヲ致サナカッタカト云フコトヲ、私ハ御尋シタノデアリマス、其ノ點ヲ御答辯ヲ願ヒマス

モウ一ツノ點ハ馬ノ移動ト云フコトハ、生産地カラ育成地、使役地ニ移動スルナラバ、是ハ勿論生産不能ニ陥ルノデアリマスガ、サウデハナクテ、私ガ今説明員ニ伺ハウトスルノハ、同じ生産地カラ生産地ニ移動シタノデアツテモ、其ノ移動シタ年ダケハ生産馬ノ受胎率ト云フモノハ二三十%ニシカ至ラナイ、同じ生産地ノ移動デアツテモ、其ノ年ハ非常ニ不成績デアルカラ、兎ニ角此ノ移動ト云フコトハ一番恐ルベキモノデハナイカ、其ノ點ノ御調査ガアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデアリマスカ、此ノ二點ニ付テ更ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○佐藤説明員 移動ガ受胎率ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フコトハ、マダ私共ト致シマシテハ統計的ニ調査ヲシテ居リマセ

ス、其ノ點ハハツキリ致シマセヌ

○村上政府委員 馬ノ生産増進ニ付キマシテハ、是ハ今マデ生産ノ慣行ノアル所ニ、最も重點ヲ置クベキコトハ、只今小笠原委員ノ御意見ノ通りデアリマス、之ニ付キマシテハ今マデモ色々ソレニ對スル助成ヲシテ居リマスガ、尙ホ只今ノ是デ不十分デアルト云フ御意見ニ付テハ、私共モ是デ決シテ十分デアルトハ申シマセヌ、今後更ニ此ノ方面ニ對スル所ノ助成施設、指導施設ト云フコトニ付キマシテハ、一層ノ力ヲ盡シタイト考ヘマス

○小笠原委員 私ガ今ノ生産地カラ生産地ニ移動スルト云フコトニ付キマシテ伺ツタノハ、是ハ衛生方面カラノ問題デナク、實際ニ於テ取扱ツテ居ル牧場關係其ノ他生産ニ從事シテ居ル——國ノ方デ數字的ニ何等御研究ガアレナクテモ、實際問題トシテハ移動シタ其ノ年ダケハ、受胎率ノ成績ガ非常ニ惡イト云フコトハ、是ハ獨リ種牝馬ニ限ラズ、種牝馬デアツテモ、外國アタリカラ輸入シタ馬ハ一二年ハ迎モ不成績デアツテ、三四年目カラ成績ヲ舉ゲルト云フ此ノ實績ニ對シテハ、馬産部長サンモ能ク御分リデナイヤウニ思ハレノデアリマスカ、種牝馬ノ方モ同じ組合ニ於キマシテ、既ガ變ツタダケデモ種付時期ニ非常ニ受胎率ガ惡イト云フヤウナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ斯ウ云フコトハ實際問題トシテ色々農家ノ方デハ、今日ノミデナク相當ニ前カラ實驗サレテ居ツタノデアリマスカ、學理的ニハドウ云フヤウニ現ハレテ居ルカモ知ラヌケレドモ、斯ウ云フコトニ對シマシテハ馬産部長サンアタリハ、是ハ移動シテモ差支ナイヤウニ考ヘ、マダ其ノ學理的

ノ研究ガナイカラ大丈夫ダト、斯ウ御考ニナツテ居ルノカ、假ニ一番敏感デアル「サラブレッド」ト云フモノカラ比較シテ見タラ一番能ク分ルデセウ、既ガ變ツタ、食ハス物ガ變ツタダケデモ受胎シナイト云フコトガ往々アル、鈍重ナル馬ナドニ至リマシテハ、其ノ程度ガ幾ラ違フデアリマセウ、併シナガラ兎ニ角移動スルト云フコトハ、受胎時期ナドニ非常ニ受胎率ニ影響ガアルト云フコトダケハ、ハツキリシテ居ル今日ノ狀態デアルノデアリマス、ソレガ學問的ノ方面カラ言ツタラ、ドウ云フコトニナルカ知レナイガ、實際問題トシテサウ云フ點ノ心配ガアリマセヌカ、其ノ點ヲ先ヅ御答辯ヒタイノデアリマス

○佐々田説明員 只今仰セノヤウニ外國アタリカラ種馬ヲ買ツテ參リマス、暫クスルト印度洋其ノ他ノ非常ニ氣候風土ノ變ツタ所ヲ經テ、更ニ又氣候風土ガ變ツタ所ニ移リマス關係上、馬ノ受胎ノ率、榮養ノ回復ニモ相當ノ時日ヲ要スルノデアリマス、隨テ本當ノ購買當時ノ狀態ニナリマスニハ、少クモ二年ハ掛ルノデアリマス、從來私共ガ向フヘ行ツテ買ツタモノガ、コチラヘ行ツテ來マシテ元ノ狀態ニナルニハ、サウ云フ狀態デアリマス、隨テ今統計的ニハ申上ゲ得ナイノデアリマスカレドモ、ヨク言ハレルコトハ輸入後暫クノ間ハ受胎歩合等モ、ヤハリ思ハシクナイト云フコトハ一般ノ定説デアルヤウデアリマス、是ハ外國ノ例デアリマスカ、國內ノ移動ニ付テ眺メマスカニ、東北或ハ北海道カラ九州ヘ持ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、國內ニ於テモ氣候風土ガ多少變リマス、隨テ長距離ノ輸送ハ、色々周圍ノ環境ノ關係デ、馬ソレ

自體ニ及ブ影響ノ差ハ多少アルカモ知レマセヌガ、併シ主トシテ移動サレルノハ二歳三歳、繁殖適齡前ノ馬ノ移動ガ多イノデアリマス、政府ノ方デヤツテ居リマスル種牝馬設置獎勵ノ實績ヲ見マスルニ、主トシテ二歳、之ニ次イデ三歳ノ牝馬ガ移動シテ居リマス、是等ハ二歳、三歳デアリマスカラ、又他ノ生産地ニ參リマシテ相當ノ期間ガアル、榮養モ回復シ、又氣候風土ニモ馴レルト云フ關係カラ、二歳、三歳デ買ツテ來タ馬ハ受胎ガ惡イ、縣内産ノモノハ受胎ガ良イト云フヤウナコトハ、餘リ聞イテ居リマセヌ、尤モ四歳以上ノ現ニ繁殖ニ使ツテ居ルモノノ移動デアリマスガ、是ハ餘リ多數ノモノハ從來移動シテ居ナイノデアリマス、若シ移動シテ居ルモノト致シマシテモ、多クハ生産地デ種ヲ付ケテ受胎シテ居ルト云フヤウナモノデアリマシテ、向フヘ行ツタ爲ニ受胎ガ惡イト云フコトニナリマス、四歳以上ノ種付ヲシテ居ナイモノガ向フヘ行ツテ急ニ種付ヲスル、其ノ年ノ受胎率ハドウデアアルカト云フコトニ付テ觀察シナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレハ今佐藤衛生課長カラ言ハレタヤウニ、別ニ統計的ニ今申上ゲル材料ノ持合セガナイノデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○小笠原委員 如何ニモ斯ウ云フ場所デハ統計的ニスツカリ現ハレナイコトニ對シマシテハ、責任ヲ持ツテ御答辯出來ナイカモ知レマセヌガ、併シナガラ實際問題トシテハ此ノ馬ノ移動ト云フコトガ、受胎ニ對シテモ生産ニ對シテモ、非常ニ大キナ影響ヲ持ツテ居ルノデアリマス、殊ニ今年ノ如キ急ニ飼料ガ暴騰致シマシテ、隨テ農家ノ常ニ持合セル所ノ大豆ナドハ賣拂ツテシマツ

テ何カ米糠ニ變ヘヨウトカ、御承知ノ通り
燕麥ト云フヤウナモノハ逆モ馬ニ食ハセラ
レルヤウナ狀況デハナイ、隨テ農林省ノ種
馬場トカ牧場ニ於テモ、燕麥ヲ使用スルコ
トハ注目ニシテ居ルト云フヤウナ今日ノ狀
態デアリマス、勿論民間ニ於テハ粟ヤ稗、
或ハ碎米ナド、サウ云フ種々雜多ナモノニ
依ツテ、ドウニカ償ハセテ居ルノデアリマ
スガ、斯ウ云フ狀況ニアル時ニハ其ノ一家
一家ニ依ツテ飼料ガ大キナ變動ヲ來シテ居
ルノデアリマシテ、斯ウ云フ場合ニハ移動
ト云フモノハ特ニ注意ヲシナケレバナラヌ
ノデ、私ノ御尋スル趣旨ハ、此ノ飼料ノ暴
騰、人件費ノ暴騰ニ依ツテ、今實際ニ種付
シナケレバナラヌ所ノ四歳以上ノ馬ノ移動
ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、私ハソレ
ヲ心配ノ餘リ御尋シタノデス、ソレガ縣内
トカ或ハ組合内ナラバ移動シテモ構ハナイ
ガ、ソレハ統計ニ現ハレテ居ナイト云フヤ
ウナコトニ御考ニナツテ居ラレルト、ヤハ
リハ是ハ生産ノ率ノ方ニ大キナ影響ヲシテ來
ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ若シ
御調査ガナカツタナラバ、一應實際ニ當ツ
テ御調ニナル必要ガアル、生産ガ總テノ問
題ノ基礎ニナツテ居ルノデアリマスカラ、
十分御調ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體馬ノ
生産者ハ純朴ナ農民デアツテ、隨テ他ノ業
者ノヤウニ何カ事ガアレバ、聲ヲ大ニシテ
陳情ヲ致スヤウナコトハシナイ、ドウモ此
ノ純朴ナ農家ト云フモノハ理窟ガ下手デ、
何方言フト直グ役人ニ理窟デ抑付ケラレテ
モウ二度トロ開ケナイデ歸ルト云フ者ガ
多イノデアリマスガ、併シナガラ今回ノ馬
産ノ經濟ト云フコトハ、篤ト馬政局ノ方デ
ハ御考ニナラヌト、理窟一點張デ、下ノ實

際ノ一線ノ農家ニ當ツテ居ル役人ノ連中ガ、
今マデノヤウナ指導ヲシテ行ク、或ハ煽テ
テヤツテシマツテ、其ノ場逃レヤツテ居
ルヤウナ指導ヲヤツタノデハ、ヤハリ農家ノ
方モ仕方ナク理窟ヲ考ヘテ來ル、農家ノ考
ヘル理窟ハ何デアルカト言ヘバ、是デハ經
濟ガ伴ハナイカラ馬ヲ止メヨウト云フコト
ニ歸著シテ來ル、ソレガ農家ノ二番良イ理
窟ダ、ソコニ至ラシメタラ話ニナラヌノデ
アリマスカラ、是ハ餘程第一線ニ居ル所ノ、
テナタ方ノ本當ノ方針ヲ指導スル連中ニ對
シテハ、今ハ農家ニ指導シテモ駄目ダカラ、
是ハ指導ト云フヨリモ、此ノ豫算ノ範圍内デ
農家ノ狀況ヲ逆ニ報告サシテ、有ノ儘ニコ
チラニ報告サセル方ガ宜イ、是ハ陸軍ニ關
スル問題デアリマスガ、私ハ斯ウ云フ報告ヲ
聞キマシタ、ソレハ陸軍ノ購買官ガ或ル場
所ヘ行ツタガ購買ガ出來ナカツタ、ソレヲ
上官ニ報告シタ内容、其ノ一端ニ斯ウ云フ
購買市ノ狀況ダト云フコトヲ報告サレタ、其
ノ報告ニドウ云フコトガ書イデアツタカト
云フト、此ノ地方ハ馬ガ高イ爲ニ、皆安イ
半ニ乗換ヘテ居ルノデ、壯馬ヲ購買スルコ
トハ不可能デアルト云フ報告ヲ書イテ居ル、
ソレヲ上官ガ見タナラバ、如何ニモ馬ガ高
クテイカヌト思フデセウガ、ソレハ逆ニチ
ツテ居ル、本當ハ陸軍デ買フノガ安イカラ
ダ、陸軍デ買フ價格ガ高カツタナラバ、高
イ馬ヲ買ツテ來テ育成スルニ違ヒナカツタ、
ソレハ逆ノコトヲ報告シテ居ルカラ、トン
ダ間違ガ出テ來ルノデス、是デハ資源ト云
フモノガ涸渇シテシマフ、皆役人ガサウ云
フ報告バカリサレル、一體今回ノ馬政ノ二
法案ノ方針ヲ定メル上ニ於テ、實ハ法律ハ
出來タケレドモ、軍ノ要求スル馬ヲ生産ス

ルニ配合スル馬ガナイト云フコトダケハ、
御認ニナラネバナラヌト思フノデアリマスガ、
今日ノ狀況デハ十分デハナイノミナラズ馬
ガ不足デ質ガ惡イ、是デハ逆モ軍ノ要求ス
ル馬ノ生産ニハ當ルコトガ出來ヌ、斯ウ云
フコトダケハハッキリ今御認ニナツテ宜イ
ト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デス
カ
○村上政府委員 馬政計畫ノ改編ニ伴ヒマ
シテ、種牡馬ノ購買ヲ昨年から實施シテ居
リマス、其ノ質ハ私共ノ見ル所ノ理想ノ域
ニハ達シテ居リマセヌ、隨テ是ハ昭和十年
マデニ、數ハ此處デハ一寸御預リシテ置キ
マスガ、吾々ノ目的ノ數ヲ集メル、而モソ
レヲ立派ナ理想のナ馬デ集メルト云フコト
ニハ、相當ノ困難ガ伴フコトハ事實デアリ
マス、併シナガラ是ハ有ユル困難ヲ排シテ、
是非サウ云フモノヲ集メタイト思ツテ居リ
マス
○小笠原委員 今ノ御答辯ニ依リマシテモ、
種牡馬ト云フモノガ國民ノ要求數ヲ充スコ
トガ出來ナイノミナラズ質ダツテサウ良イ
モノバカリ揃ヘルト云フ譯ニ行カヌト云フ
狀況デアルコトハ、御答辯ノ通りダト私ハ
考ヘテ居リマス、然ラバ之ヲ如何ニシテ數
ヲ充タスカ、質ヲ向上セシメルカ、其ノ種
牡馬ヲ作ル爲ニハ、ドウ云フ方針ヲ執ラレ
ルノデアルカ、其ノ點等ガ分ツタヤウデ
分ラヌ、ソレヲ一ツハツキリト説明員カラ
デモ宜シウゴザイマスガ、能ク聞カセテ戴
キタイ、ドウ云フ風ニシテ馬ヲ生産スレバ、
政府ノ方ノ牧場カラ、ドウ云フ良馬ガ出來、
又民間ノ方カラドウ云フ風ヲ指導スレバ、
立派ナ馬ガ出來ルノダト云フコトノ方針ガ
分ラナケレバ、種ガナクテ逆モ馬ノ生産モ

出來マセヌ、其ノ方針ヲ承リタイ
○村上政府委員 私カラ申上ゲマシテ、尙
ホ佐々田馬産部長カラ補正シテ貰フコトニ
致シマス、此ノ度ノ所謂小格輓馬、ドウ云
フモノガ小格輓馬デアアルカト云フコトハ、
成程從來ノ馬産家ニモ徹底シテ居ラヌト思
ヒマス、隨テ之ニハ第一ニ其ノ理想體型ト
云フモノヲ、日本全國ノ馬産家ニ徹底セシ
メルコトガ第一デアリマス、ソレデ此ノ二
月モ主タル馬產地デアリマス北海道、東北
及ビ九州ニ民間ノ當業者、縣ノ技術員、私共
ノ方ノ技術者等ガ集マリマシテ、是等ニ付
キマシテ協議會ヲ開イタ次第デアリマス、
斯様ナ協議會、懇談會等ハ今後モ屢、開キマ
シテ、五ニドウ云フ馬ガ今後軍ノ要求スル
馬デアアルカト云フコトノ正確ナル認識ヲ作
ルト云フコトガ第一デアリマス、次ニハ是
ハ急速ニハ中々思フ通りナ馬ガ出テ來マセ
ヌガ、次第ニ良型ノ種牡馬ヲ求メマシテ、
ソレニ依ツテ逐次ニ理想體型ノ種牡馬ヲ作
ツテ行カウト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリ
マス
○佐々田説明員 只今長官カラ申サレマシ
タヤウニ、今回ノ新シイ方針ニ副フ所ノ各
役種ノ馬ヲ作ル爲ニ、ソレノ種牡馬、種
牝馬ノ適當ナルモノヲ得、又ドウ云フモノ
ヲ得ルト云フコトニナツテ居ルカド云フ方
針ノ徹底ヲ圖ルト云フコトハ固ヨリデアリ
マスガ、其ノ外ニ種牡馬ヲ作ル具體的ノ方
策ト致シマシテハ、折角馬政局ノ方デ豫算
ヲ取ツテ研究中デアリマス、馬ノ登録制度
ニ關スル施設デアリマスガ、是ハ前ノ計畫、
即チ馬政第二次計畫樹立ノ際ニ、將來日本
ノ馬ハ一定ノ規格ノモノヲ作出ス、即チ軍
ノ要望サレル一定ノ規格ノモノヲ作出ス爲

ニハ、其ノ根源デアル種牡馬、種牝馬ノ立
派ナモノヲ作ラナケレバナラス、ソレガ爲
ニハ種馬資源ヲ確保スル爲ニ、種馬ノ登録
制度ヲモトメ必要ガアルト云フノデ、昭和十
一年度以來本年デ丁第五箇年ニナリマスガ、
大體準備調査ノ基礎調査ヲ致シテ居リマス、
是ハ地方ノ産馬地ニ於ケル産種ニ使ハレル
牝馬ノ體形、血統カラ總テ具サニ調査シテ
アリマスガ、是モ略、完了致シマシタノデ、
將來ハ種牡馬ヲ作ル種馬ニ關シマシテハ、
登録制度ヲ實施シナケレバナラスコトカト
存ジマス、尙ホソレガ爲ニハ結局何處ニモ
サウ云フモノニ依ツテ種馬ヲ作ルト云フコ
トハ至難デアリマス、種牡馬ヲ作ル適地ガ
自ラアル譯デアリマス、デスカラ、其ノ地
方ニ向ヒマシテハ、先ヅ種牡馬ヲ作ル種牡
馬ヲ配置スル、又種牡馬ヲ作ル種牝馬ノ基
本トナル種牝馬モ出シマシテ、サウ云フ種
牝馬ニ種牡馬ヲ作ル種牡馬ヲ配合致シマシ
テ、サウシテ國家ノ要望スル種牡馬ヲ作ツ
テ行ク、昨年御審議ヲ經マシタ種馬統制法
ハ、専ラ軍所要ノ馬ヲ作ル其ノ種馬資源ヲ
確保スル爲ニ種牡馬トカ候補種牡馬トカ、
優良種牝馬、候補優良種牝馬ノ制度ナノデ
アリマス、其ノ中ニ種牡馬ヲ作ルモノハ勿
論アリマスガ、更ニ其ノ一部ヲ選リ出シマ
シテ種牡馬ヲ作ル種牡馬、種牝馬ヲ作ル種
牡馬ヲ各地ニ確保致シマシテ、實際トシテ
ハドウ云フ方法ニナルカ知りマセスガ、サ
ウ云フ特定ノモノヲ指定致シマシテ、種牡
馬資源ヲ確保スルト云フ方針ヲ以テ、今登
録制度ノ準備ヲ進メテ居リマス、其ノ外ノ
コトニ付キマシテハ、大體長官ノ申サレル
通りノ方針ヲ以テ進ンデ居リマス

説明員ノ御答ガアリマシタガ、ヤハリ政府
ノ方ニ於テモ、此ノ種牡馬ニ對シテ相當ノ
重點ヲ置イテ、今後方針ヲ改メラレルヤウ
ナコトニ伺ツタノデアリマスガ、大體此ノ
戰時中ニアア云フ馬政計畫ノ二大方針ヲ確
立シテ置イテ、種ガナクテサウ云フ馬ヲ出
セト國民ニ強ヒルコトハ、初カラ無理ダ
シ、又無理デモ宜シイガ、斯ウ云フ種牡馬
ノ選定又ハ増産ニ對シテ、質ト數ヲ揃ヘル
ト云フコトニ付テ急イデオヤリニナツテコ
ソ本當デ、國民ノ方ニハ斯ウ云フ方針ヲ出
シテ置イテ、種ガナイゾト云フコトニシテ
ヤルト云フノハ、是ハ無理ノ上ニ大キナ無
理ガアルノデアリマス、併シ只今佐々田サ
ンノ御説明ヲ伺フト、種馬ヲ作ル種牡馬、
種牝馬ヲ特定地ニ配置スルト云フコトハ如
何ニモ結構ナコトデアリマセウ、併シナガ
ラココニマダ御忘レニナツテ居ルコトガア
ルヤウニ思ハレマス、大體斯ウ云フコトカ
ラ伺ツタラ一番分リ易イデアリマセウガ、
今年奥羽牧場ニ於テ種馬生産ノ目的ヲ以テ、
今度方ノ針ニ基イテ、アングロ・ノルマン系
ノ種牝馬ヲ購入サレタヤウニ承ツテ居リマ
ス、其ノ馬ノ價格ヲ承ルト、三千圓或ハ四
千圓ノ種牝馬ヲ購入サレタヤウデアリマス、
之ニ付テハ資料ヲ要求シテゴザイマスケレ
ドモ、簡單ナ問題デアリマスカラ、此處デ
何頭御買ヒニナツテ、價格ハ一頭々々ガド
レダケダト云フコトダケ一ツ御答辯願ツテ、
ソレカラ更ニ此ノ種牡馬ノ價值ニ付テ御尋
シヨウト思ヒマス

○佐々田説明員 只今仰セノヤウニ昨年ノ
秋奥羽種馬牧場ニ於テ種牝馬ヲ買ヒマシ
タ、其ノ買ヒマシタ目的ハ、奥羽種馬牧場
ト言ハズ、國ノ牧場ニ於キマシテハ、種牡
馬ヲ作ル種牡馬ト云フコトヲ根本ノ目的ト
シテ居リマスノデ、今回ノ方針ヲ改變ニ伴
ヒマシテ、從來ノ繋養シテ居ル牝馬デハ小
格種馬、即チ戰列駄馬同キ小格種馬ノ種馬
ヲ作ツテ行クニハ、種牝馬ノ資源ガ十分デ
ナイト思ヒマシテ、北海道ノ根室ト十勝ニ
於キマシテ、昨年種馬統制法ニ依ツテ、優
良種牝馬ニ指定致シマシタモノノ中、特ニ
小格種馬ノ甲ニ屬スル特有ノモノノ中、最
モ優秀ナモノヲ交渉致シマシテ、七頭程漸
ク手ニ入レタノデアリマス、其ノ數デハマ
ダ十分デアリマセスガ、而モ種牡馬ヲ作
ル種牝馬ノ又種牝馬デアリマスカラ、中々
ナイノデアリマスガ、漸ク七頭程手ニ入レ
タノデアリマス、是ハ所有者ノ方モ賣ラナ
イト云フノヲ、無理ニ懇願シテ分ケテ貰ツ
タノデアリマス、ソレハ最高四千圓、最低
三千圓、平均三千四百二十八圓ト云フコト
ニナツテ居リマス、ソレダケ申上ゲテ置キ
マス

○小笠原委員 ソコデ私ハ其ノ種牡馬ノ價
値ト云フコトニ對シテ伺ヒタイノデアリマ
スガ、牝馬ハ三千五百圓ノ平均トシマシテ
モ、ソレニ何歳カハ知ラヌガ、假ニ五歳、
其ノ歳カラ配合スルト見マシテモ、年五分
ノ金利ヲ加ヘマシテ、ソレカラソレヲ育成
スル上ニ於テ今ダト一日二圓五十錢ヲ奥羽
牧場ニモ要スルト思ヒマス、ソレニ牧夫ノ
給料ガ假ニ一圓五十錢トシテ、馬ガ三頭ト
云フ割合ニシテモ五十錢デ合計三圓、スル
ト月ニ百圓掛ル、厩肥ノ耕作ハ畑地ノ半分
ノ損失ニ該當スルト見マシテモ、畑地ノ使
用料ガ半分ニ當リマス、ソレヲ假ニ四歳カ
ラ十七歳マデニ、アア云フ八割ノ受胎成績
ノアル所デ何頭生産シテ、其ノ中カラ種牡
馬トナツテ現ハレルモノハドレ程アルカ、
其ノ中ニハ牝馬モアルデセウシ、或ハ怪我
スルモノモアルデセウシ、或ハ流産スルモ
ノモアルデセウ、今マデノ牧場アタリデハ、
一頭當リカラ平均シテ、種牡馬トシテ國デ
使用シタモノハドレ程ニナツテ居ルデアリ
マセウカ、ソレハ餘リ細イ數字デ御分リニ
ナラナカタラ、是ハ後デ御調ヲ戴イテモ
宜イノデアリマス、斯ウ云フ所カラ計算シ
テ參リマス、愈、御承知ノ通り——是ハ佐
藤サンノ方ノ關係ニ屬スルカモ知レナイケ
レドモ、受胎スルト云フコトニナルト、種
牡馬ヲ生産スル馬ニハ、受胎六箇月後ニハ
一割増ノ飼料ヲ遣ラナケレバナラス、生産
シテ乳ニアル六箇月ノ開ハ、六割ノ濃厚飼
料ヲ遣ラナケレバナラス、若シソレニ缺陷
ガアルト親カ仔ノ何レカニ缺陷ヲ生ズルト
云フコトハ、是ハ非常ニ調査シテ居ラレル
カラ佐藤サンノ方デ御分リダラウト思フ、
ソレ程今日ノ高い濃厚飼料ヲ與ヘ、ソレカ
ラ離乳シタ後ニ對シテハ、親馬ノ半分ノ飼
料ヲ與ヘテ、民間デアレバ二歳ノ秋ニ市場
ニ出スマデニ、最モ發育旺盛ナ場合ニ、飼
料ヲ十分ニシテ運動ヲ付ケテヤツテ、サウ
シテ今ノ軍ノ要求スル體格骨量ニマデ、十
分ナ發育ヲスルヤウニ致スノデアリマス、
ソレデ立派ナ種馬トナルノデアリマス、
ソレヲアナタ方ハ種馬ノ又種馬ヲ作ルノダ
ト云ツテモ四千圓、四千圓ノ馬ヲ三歳マデ
育デテ、ソレニ五分ノ金利ヲ加ヘ飼料ヲ與
ヘタノヲ計算スレバ、八千圓位ニナリマス、
能ク計算シテ見テ下サイ、ソレヲ民間カラ
ハ三千三百圓ヤ四千四百圓デ購買シテヤツタ
宜イト云フコトナラバ、良イ馬ハ民間カラ
ハ出ヨウ筈ハアリマセス、ソレガ種牡馬ヲ

高ク致シマス、低物價政策ニ反スルトカ、軍馬ニ少々毛ノ生ヘタ位デ、サウ高ク買フコトハナイデハナイカト云フヤウナコトヲ言フ人モアル、サウ云フ譯デ値段ヲ無理ニ抑ヘテ、種牡馬購買ト云フコトハ採算ガ取レナイト云フカ、相當ナ損失ヲ與ヘテ購買シナケレバナラスト云フコトハ、今日ノ馬產方針ガ國デ拵ヘルナラバイザ知ラズ、費用ヲ構ハズヤルカラ宜イガ、民間デ作ルト云フノデハ誰モ種馬ヲ作ル者ガアリマセヌ、其ノ豫算ノコトニ重點ヲ置クコトヲ忘レタラ、有ユル手段ヲ盡シテモ無効デアリマス、其ノ豫算ヲ取ルダケノ勇氣ガアルカ、軍ノ要望スル所ノ理想ノ種馬ヲ揃ヘルニハ、何處ニ重點ヲ置クカト云ヘバ、購買ノ價格ニ依ツテ決定スルモノデアアル、是位ハツキリシタコトハナイノデアリマス、ソレヲ如何ニ御考ニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 只今民間カラ買ツテ居リマスモノハ、一年ニ相當ノ數ヲ買ツテ居リマス、是ハ平均ハ大體二歳デ千三百二十八圓、三歳ニ於テ千四百圓バカリデアリマスガ、併シナガラ是ハ平均デアリマシテ、質ノ良イモノハ今デモ二千三百圓位デ買ツテ居リマス、隨テ今後ト雖モ質ノ良イモノハ無論二千圓、二千五百圓出シテモ買フノデアリマス、而シテ種馬ノ購買價格ノ引上ニ付キマシテハ、御承知ノ通り今後種馬ヲ買フモノハ、大體農林省ト云フコトニナリマスノデ、是ガ一種ノ獨占價格ヲ作ルヤウナモノデアリマスカラ、隨テ生産費ニ合ハナイデ價格ヲ決メタラ、成程小笠原サンノ仰シヤルヤウニ、種馬ヲ作ル者ハ無クナツテシマヒマス、ソレデ私共ノ方ト致シマシテモ、出來ルダケ豫算ノ範圍ニ於テ、種馬ノ購買

ニ付テハ出來得ルダケノコトヲヤリタイト思ヒマス、尙ボ將來是ガ價格ノ引上ヲスルガ爲ニ、豫算ヲ要求スルカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ低物價政策ヲ執ルト云フ關係モアリ、又單價ノ引上ト云フノハ、從來モ大藏省ノ容認ヲ得ルコトガ中々困難デアルト云フ實情ニハナツテ居リマスガ、私共ト致シマシテハ是ハ豫算ヲ取ルコトニ努力シタイト思ヒマス

○小笠原委員 此ノ種牡馬ノ育成ニ付テモ段階ハ幾ツモアツテ、單種牡馬トハ申サレマセヌ、或ハ乘馬アリ、小格挽馬アリ、挽馬アリト云フヤウナ狀況デアアルノデアリマシテ、ソレヲ唯一律ニ御考ヘニナルト大キナ間違デアリマス、同ジ育成デアリマシテモ、挽馬ノヤウナモノヲ二歳ガ五六百圓ニ購買シテ參リマシテ、ソレヲ小作馬ニ與ヘテ使役シナガラ飼養ヲヤツテ、サウシテ種牡馬候補馬トシテ購買ニ應ズル所ガアルノデアリマス、是ハ相當經濟的デアリマスガ、併シナガラ、如何ニモサウ云フコトヲ致シマシタナラバ、軍ノ方デ獎勵スル艱難粗食ニ堪ヘルモノガ出來ルノダカラ宜イデハナイカト云フ風ニ考ヘレバ、一應御尤モノヤウニ思ハレルノデアリマスケレドモ、是ハ馬產部長サンモ佐藤課長サンノ方モ御承知ノ通り、中々幼駒當歳カラ三歳ノ間ト云フモノハ、飼育ニ相當ナ注意ヲ要シ、少シ無理スルト故障ガ出來ル、又是ガ爲ニ發達ヲ阻碍スルト云フヤウナコトガアルノデアリマシテ、ヤハリ幼駒ノ中ハ十分飼料ヲ與ヘテ、運動適度ト云フコトガ一番面倒デ、サウシナケレバ立派ナ體格ニ發達スルコトガ出來ナイ、隨テ五歳ニナツテ十分ニ體軀

ガ出來タ頃、人間ナラバ徴兵適齡ニナツテカラ艱難粗食ニ堪ヘルコトヲ鍛ヘル、斯ウニツニヤラナケレバナラヌ、サウ幼駒ノウチカラ艱難粗食ト云フコトニナルト、多クハ育成ニ過チヲ來スノデアリマス、隨テサウ云フ方面ノ馬ハ餘リ良イ馬ハ出マセヌ、ヤハリ種牡馬ト云フモノハ、種牡馬ヲ作ルベク努力スルト云フコトデナケレバ、本當ノ理想ノ馬ハ出來ナイ、況ンヤ乘馬ニ至ツテハ、幼駒ノ時ニ多少デモ無理ナ使役ガアルト、故障ガ出テ種牡馬ニナリマセヌ、又乘馬ノ内デモ輕種ニ至ツテハ、輕種ハ乘馬ト別ニナツテ居ルケレドモ、輕種ニ至ツテハ非常ニ面倒ダ、輕種ノ人件費ト云フノハ挽馬ノ倍ヲ要スルノデアリマス、今日ノヤウニ非常ニ人件費ノ昂騰致シタ場合ニハ、特ニ影響ガ大キイ、然ルニ競馬デ購買ハサセヌ、競馬デハ澤山金ガアルカラ購買シタクツテ仕様がナイ、買ヒタガツテ居ルノヲ農林省ガ抑ヘテ、競馬バヤリヤツタ外ノ馬ガ仕様がナイト買入ヲ抑ヘ付ケテ、種馬選定ノ方針ヲ無理ニ低價デ購買サシテ居ルト云フコトニ聞イテ居リマスガ、只今長官カラ種牡馬購買ニ對シテハ、農林省ノ方デ豫算ヲ要求シテ大イニ善處スルト云フ御話モアリマシタケレドモ、御答辯ダケデアツテ、實際問題トシテ出シ宜イ競馬ノ方ヲ抑ヘ付ケテ置イテ、取ルニ中々困難ナ方ニ對シテハ努力スルト仰シヤルケレドモ、手取早く出シ宜イ方カラ出サセルト云フコトニシタラ宜ササウナモノデアアル、殊ニ斯ウ云フ經費關係ガ困難ヲ來シテ居ル、ナクテモ宜イト云フナラバ別デアリマスガ、育テナケレバナラスト云フノニ、今ドシ、輕種ハ移動ガアル場合ニ、多少トモ斯ウ云フ方面ニ努力ヲシタリ、或

ハ方針ヲ決メタト云フコトニナツタナラバ、此ノ移動ノ方モ緩和サレルダラウト思フ、何カノ方針ヲ立テナクテハ抑ヘ切レナクナツタノデアリマス、輕種ノ飼養育成ト云フコトハ、普通ノ挽馬方面ヨリ相當ナ大キナ費用ヲ要スルト云フコトニ對シマシテハ、能ク政府ノ方デ研究サレテ御分リノコトト思フノデアリマス、今後購買方針ヲドウ云フ風ニ改メラレル方針デアアルカ、又豫備馬ノ制度ヲ設ケル御考デアアルカ、其ノ點ニ付テモ、馬政局ニ於テ相當議論ガアツタト云フコトヲ伺ツテ居リマスガ、今度ハドウナサルノデアリマスカ、其ノ點ヲ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 競馬ノ抽籤馬ノ購買ニ付テハ、昨年度ニ於キマシテハ一昨年度ヨリ相當之ヲ情勢ニ應ジテ引上ゲマシタ、サウシテ此ノアラブノ系統ノ馬ニ付キマシテモ、豫備馬制度ヲ設ケルカドウカト云フコトハ、今馬政局内ニ設置サレテ居ル所ノ競馬研究會ニ於テ研究中デアリマス、此ノ點ニ付テハ、贊否兩論ガアリマシテ、マダ決定ニ至ツテ居リマセヌ、本年度ノ抽籤馬ヲ日本競馬會デ買ヒマス爲ノ購買價格ヲ、ドウ致シマスカト云フコトニ付テハ、目下ノ所全然未定デゴザイマス、唯茲ニ申上ゲテ置キタイコトハ、抽籤馬ノ購買價格ダケヲ非常ニ引上ゲマスコトハ、結局輕種ノ生産ヲ非常ニ刺戟スルヤウナコトニナリマシテ、場合ニ依リマス、折角今マデ決メマシタ馬產方針ニ、支障ヲ來スト云フヤウナコトモアリマスノデ、色々ノコトヲ考慮シテ、慎重ニ是ハ決定シナケレバナラナイト思ツテ居リマス

○小笠原委員 種馬ノ購買價格ヲ増加スル

ハ方針ヲ決メタト云フコトニナツタナラバ、此ノ移動ノ方モ緩和サレルダラウト思フ、何カノ方針ヲ立テナクテハ抑ヘ切レナクナツタノデアリマス、輕種ノ飼養育成ト云フコトハ、普通ノ挽馬方面ヨリ相當ナ大キナ費用ヲ要スルト云フコトニ對シマシテハ、能ク政府ノ方デ研究サレテ御分リノコトト思フノデアリマス、今後購買方針ヲドウ云フ風ニ改メラレル方針デアアルカ、又豫備馬ノ制度ヲ設ケル御考デアアルカ、其ノ點ニ付テモ、馬政局ニ於テ相當議論ガアツタト云フコトヲ伺ツテ居リマスガ、今度ハドウナサルノデアリマスカ、其ノ點ヲ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 競馬ノ抽籤馬ノ購買ニ付テハ、昨年度ニ於キマシテハ一昨年度ヨリ相當之ヲ情勢ニ應ジテ引上ゲマシタ、サウシテ此ノアラブノ系統ノ馬ニ付キマシテモ、豫備馬制度ヲ設ケルカドウカト云フコトハ、今馬政局内ニ設置サレテ居ル所ノ競馬研究會ニ於テ研究中デアリマス、此ノ點ニ付テハ、贊否兩論ガアリマシテ、マダ決定ニ至ツテ居リマセヌ、本年度ノ抽籤馬ヲ日本競馬會デ買ヒマス爲ノ購買價格ヲ、ドウ致シマスカト云フコトニ付テハ、目下ノ所全然未定デゴザイマス、唯茲ニ申上ゲテ置キタイコトハ、抽籤馬ノ購買價格ダケヲ非常ニ引上ゲマスコトハ、結局輕種ノ生産ヲ非常ニ刺戟スルヤウナコトニナリマシテ、場合ニ依リマス、折角今マデ決メマシタ馬產方針ニ、支障ヲ來スト云フヤウナコトモアリマスノデ、色々ノコトヲ考慮シテ、慎重ニ是ハ決定シナケレバナラナイト思ツテ居リマス

○小笠原委員 種馬ノ購買價格ヲ増加スル

ト云フコトハ、種馬ノミヲ獎勵スルヤウナ
傾向ニナツテイカスト云フコトニ、御答辯
ガアツタノデアリマスガ、私ハ相當ナ増額
ヲナサレテモ、サウ云フコトハ一定ノ限度
ヲ示シテ指定シテ居ル今日ノ場合、輕種ノ
方ハ相當ニ賤カラ、人間カラ、技術ヲ伴ハ
ナケレバ、輕種ヲヤレルモノデハナイカラ、
恐ラク其ノ方面ニハ走ツテ行カスト、私ハ
考ヘルノデアリマス、而モ半面ニ之ヲ放置
シテ、輕種ノ方ノ資源ヲ破壞シテシマフ現
象ノアルコトヲ、如何ニシテ救済スルカト
云フコトヲ、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、其ノ方面ノコトハ先刻來マダ御調査ヲ
ナサツテ居ラヌト云フコトデアリマス、殊
ニ又先刻ノ種牡馬デモ、今年ハ二千五百圓
デ買フト云フ御話ガアリマシタガ、ソナ
コトデハ出テ來ハシマセヌ、牧場ノ方デコ
ツコツニヤツタモノハ、ソレヲ種牡馬トシ
テ國ノ種馬所ニ配給スル時分ニハ、費用ヲ
計算シテ見ルト、七八千圓ニナル、ソレニ
民間ノモノハ、オ前ノモノハ千五百圓デ宜
イ、二千圓デ宜イト云フノデハ、良イ馬ヲ
眞劍ニ作ル者ハアリマセヌ、昨年ハ別トシ
テ、今年ハドウスルカ、今年ハ二千五百圓
ト云フコトデアル、私ハ飼料ノ問題ヲ十年
度ト比較シテ申上テ見マストコナコト
ニナツテ居リマス、米ハ四斗俵一俵昭和十
年ニハ十一圓七十八錢、今年ハ十七圓、是ハ
安イ方ノ田舎ノ相場デアリマス、大豆ハ十
年ニハ四斗俵一俵五圓、是ガ今年ハ十七圓
五十錢、三倍半デアリマス、米糠ハ十年ニ
一圓十錢、今年ハ五圓デアリマス、統制價
格ハ三圓二十錢トカニ決メタサウデア
リマスケレドモ、今ハ生産者ノ方ハ賣拂ツ
テシマツテ一俵モ持ツテ居ナイ、却テ

商人カラ買ハナクテハナラナイ立場デ
アル、所ガ統制價格デハ商人側ハ持つテ居
ツテモ中々出サナイ、粟ハ十年ハ六圓四十
錢、今ハ十七圓、稗、是ハ穀ニ入ツタ儘ノ
モノデアリマスガ、十年ニ四斗俵一俵二圓、
ソレガ今日ハ八圓ニナツテ居ル、小豆ハ馬
ハ食ハヌケレドモ、農家ノ方面ニ關係ガア
リマスカラ申上ゲマスガ、是ハ十年六圓デ
アツタモノガ、今年ハ十二圓五十錢、燕
麥ハ十年ニ二圓三十錢デ、是モ今ハ九圓八
十錢、ソレカラ農家ノ方デヤツテ居リマス
菜種デアリマスガ、是ハ昭和十年ハ九圓ノ
モノガ、今ハ二十七圓、斯ウ云フ狀態デア
リマス、昨年カラ見マシテ殆ド全部ガ倍、
或ハ三倍ニナツテ居ルモノモアルノデアリ
マス、斯ウ云フ飼料ノ價格ノ大キナ變動ヲ
來シタ場合ニ、國ノ最モ大切ナ種牡馬ヲ配
置スル上ニ於テ、種牡馬ノ購買ニ對シテ未
ダニアナタ方ハ考ヘル所ナク、二圓カ三圓
ヲ豫算ノ中デヤリ繰シヨウト考ヘテ居ツタ
ナラバ、先刻申上ゲタ部落ノ中堅ニナツテ
居ル優秀ナ馬ノ生産者、村ヲ指導スル連中
ガコソノ馬ト云フモノカラ逃ガテシマハ
ウ、馬ノ生産カラ逃レヨウトシテ、三頭ノ
モノハ二頭ニ、二頭ノモノハ一頭ニスルト
云フヤウナコトニナツテ行クノハ當然デア
ル、此ノ場合、部落ノ有力者ヲビタント抑
ヘルト云フコトガ必要デアル、オ前等ガヤ
ツテ居ル馬ニ對シテハ、輕種ノ方ハ斯ウ云
フ制度デ今度ハ高クシタ、軍用馬ハ是程高
クシタ、種牡馬ニ對シテハ斯ウ云フ制度ヲ
設ケタト云フコトヲ示ス必要ガアル、ソレ
モ無理ニ此ノ低物價時代ニ高クシテ呉レ
ト、アナタ方ニ言フノデハナイ、適正價格
デ宜シイカラ、其ノ適正ト云フコトヲアナ

タ方ハ考ヘナケレバナラス、是ハ私大藏省
ノ方ニ聽カウト思ツテ居リマシタガ、今日
馬ノ購買ノ爲ノ低利資金ヲ吾々ニ貸サレ
タ、ソレハ三分八厘デ貸サレテ、吾々ニソ
レヲ幾ラカ鞘ヲ取ツテ農家ニ貸セト云フコ
トナノデ、吾々ハソレヲ農家ニ五分デ貸
シタ、農家ハソレデ二歳馬ヲ買ツテ、三歳
四歳ト二年間育テテ、ソレカラ四歳デ種付
ヲシテ孕ンデ、五歳デ産ンデ、六歳ノ時ニ
ソレガ二歳馬ニナルガ、其ノ前後四年間年
五分ノ金利ヲ拂フ、サウシテヤツト軍用馬
ニナツタモノヲ、一頭四百圓デ手ヲ挽ガレ
ルヤウニ市場デ取ラレル、是デハ多少經濟
ノ分ツタ者ハドウシテ馬ヲヤレマスカ、政
府モチト金ヲ借ル身ニナツテ考ヘテ見レバ
直グ分ル、斯ウ云フ實情ヲ考ヘタ時ニ、ソ
レガドウシテ適正價格デアルカ、是デハア
ナタ方ガ能ク御調査ヲナサツテ居ルノカド
ウカ疑ハザルヲ得マセヌ、此ノ軍用馬ノ適
正價格ト云フモノト、ソレカラ種牡馬ノ購
買ノ適正價格ト云フモノハ、是デケハ御役
所デオヤリニナツテ居ルノダカラ、今日ハ
時間モナイヤウデアリマスカ明日デモ宜
イデスガ、ドレダケガ其ノ適正價格デア
ルカト云フコトノ御調査ヲナサツテ、馬政局
トソレカラ軍用馬ノ方ノ方カラ、先ヅ以テ
之ヲ御答辯願ヒタイト思フノデアリマス
○村上政府委員 明日適正價格ヲ出セト云
フコトハ、是ハ一寸困難デス
○小笠原委員 ソレデハ明後日デモ宜シイ
デス
○村上政府委員 明後日ニシテモ、此ノ價
格ヲ今直グ出スト云フコトハ、中々難カシ
イ事ダラウト思ヒマス、若シ幾ラガ適正價
格ダト云フコトヲ簡單ニ出シテ、後デ高イ

トカ安イトカ云フコトデ問題ニナツテモ困
リマスカラ、サウ云フコトハ餘程研究シテ
掛リマセヌト、簡單ニ適正價格ハ幾ラダト
云フコトヲ、一夜作りデ出スコトハ危險ダ
ト思ヒマスカラ、ドウカ其ノ點ダケハ御諒
承ヲ願ヒマス
○小笠原委員 ソレデハ斯ウ云フコトヲ伺
ヒマセウ、馬政局ハ大藏省ノ預金部ノ方カ
ラ低利資金ヲ借りテ、ソレヲ吾々ニ貸シテ
二歳ヲ買ハシテ居ルノデアリマスカラ、今
年全國デ買ツタ二歳馬ノ頭數ト其ノ平均價
格ヲ見マシテ、今マデノ生産馬ハ二歳デ購
入シタモノハ、大體十七歳マデガ、其ノ生
産馬ノ一生ト見テ、其ノ一代ニドレダケノ
生産ヲシ、ドレダケノ收入ヲ得テ居ルカ、
而シテ金利ハ幾ラ掛ツテ居ルカ、大體金利
ニ掛ツタモノト生産ニ依ル收入トヲ比較シ
テ、飼料ノ方ノ問題ハ私ノ方デ出シテ參リ
マスカラ、其ノ金利ト云フモノト從來國ノ
方デモ、民間ノ方デモ生産シタ頭數ガ分ツ
テ居リマスカラ、ソレデ比例シテ見ルト、
ドレダケ一頭カラ生産馬ガ出テ、其ノ中軍
用馬ニドレダケ、種馬ニドレ程行ツテ居
ルカト云フコトガ分ルカラ、其ノ價格ヲ出シ
テ、年五分ノ金利トシテ金利ダケハ幾ラニ
ナルカ、其ノ金利ダケナラハツキリ分ル譯
デセウカラ、サウ云フコトモ一ツ計算ヲ御
願シタイ
○坪山委員長代理 今日ハ是デ終ヒタイト
思ヒマスガ、明日ハ速記ノ都合デ出來マセ
ヌシ、明後日ハ或ハ休ミニナルノデハナカ
ラウカト思フノデス、サウ云フ譯デ月曜ノ
午後一時開クコトニシテ本日ハ是デ散會致
シマス
正午散會

昭和十五年三月十四日印刷

昭和十五年三月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局